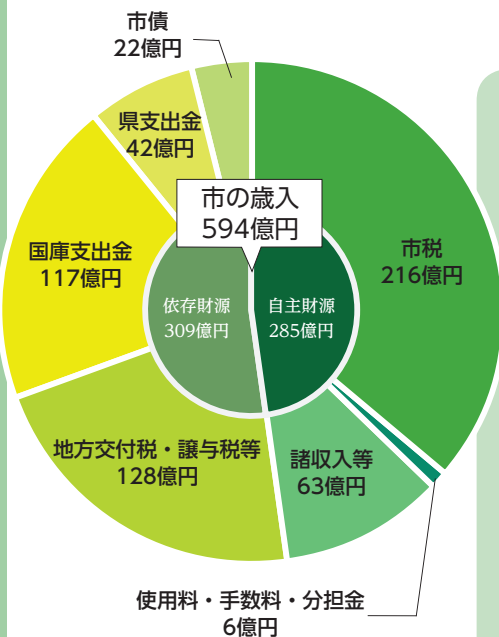


どんな収入があったの？



給与収入が減ってしまった。少しでも収入が増えるよう考えないと…

- 市税**
市民の皆さんに納めていただいた税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等)
- 分担金・負担金**
市のサービス等を受ける人たちが負担したお金(保育料等)
- 使用料・手数料**
市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料等
- 繰入金**
市の基金から引き出したお金
- 繰越金**
前年度に残ったお金
- 譲与税・交付金**
国税・県税のうち市の分として譲与・交付されたお金
- 地方交付税**
国税のうち市の分として交付されたお金
- 国庫支出金**
国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金
- 県支出金**
県が市に対して支出したお金
- 諸収入**
延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入等
- 市債**
市が国や銀行から借りたお金

令和5年度決算に基づく こが家の

令和5年4月～令和6年3月の月平均家計

収入

(前年度との比較)

給与	402,500円	(-7,000円)
○基本給	187,800円	(-2,900円)
○諸手当	214,700円	(-4,100円)
貸したお金の返済金	700円	(-100円)
銀行からの借り入れ	12,800円	(+7,100円)
収入合計	416,000円	

家計簿

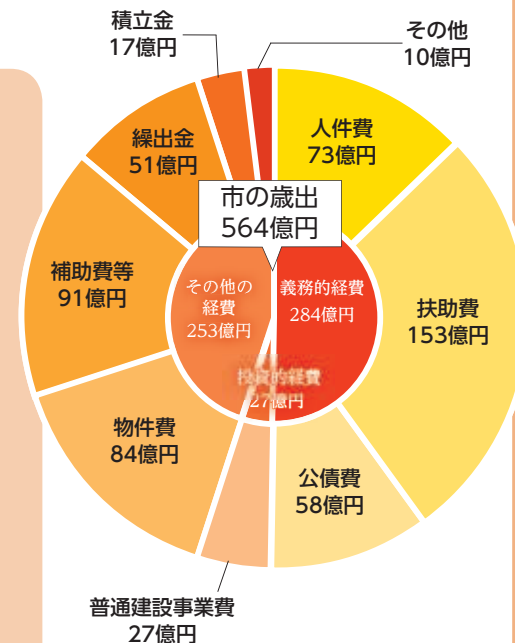
支出

(前年度との比較)

生活費	242,400円	(+8,200円)
○食費	51,500円	(-100円)
○光熱費や通信費	58,900円	(-1,100円)
○家・車・家電の修理費	25,100円	(+7,900円)
○家族の医療費	106,900円	(+1,500円)
家族への仕送り	99,900円	(+3,300円)
ローンの返済	40,500円	(-4,500円)
貯金	12,200円	(-6,500円)
支出合計	395,000円	(+500円)
差額(収入-支出)	21,000円	(-500円)

- 人件費**
市職員の給料や議員報酬等
- 物件費**
光熱水費、消耗品費、業務委託料等
- 維持補修費**
道路・公共施設を維持するために使ったお金
- 普通建設事業費**
公共・公用施設の新築・改修に使ったお金
- 扶助費**
生活保護、障がい者支援、医療費助成等、福祉に使ったお金
- 補助費等**
補償費、負担金、補助金等
- 繰出金**
介護保険や後期高齢者医療等、他の会計への繰出金
- 公債費**
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 積立金**
将来の財源変動に備えて積み立てたお金

どんな支出があったの？



昨年と比べると家・車・家電の修理費が増えているわね。これからも増えそうだから切り詰めるところを考えないといけないなあ…



市民1人当たりの貯金が増えました。災害など、緊急時の備えには必要なものですね

市民1人当たりの貯金残高*

74,000円 (+6,600円)

※令和6年4月1日現在の住民基本台帳の人口(140,238人)を基に算出。

市民1人当たりのローン残高*

308,000円 (-23,000円)

市民1人当たりのローン残高は昨年度よりも減っていますね！



こが家の家計簿とは

市の令和5年度一般会計決算を1年間の収入が500万円(1カ月当たりの収入が41万6,000円)の「こが家の家計簿」に例えて説明しています。

【問】総財政課Tel.92-3111

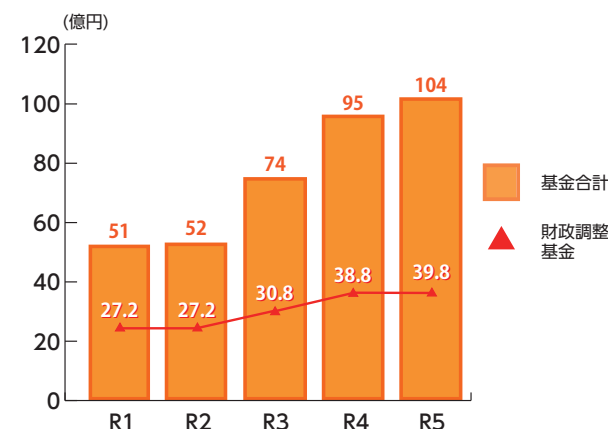
【家族(7人)の構成】

- ・毎日忙しく働くお父さんとお母さん
- ・1人暮らしをしている大学生のお姉ちゃん
- ・市内の小学校に楽しく通う僕と妹
- ・いつも優しいおじいちゃんとおばあちゃん

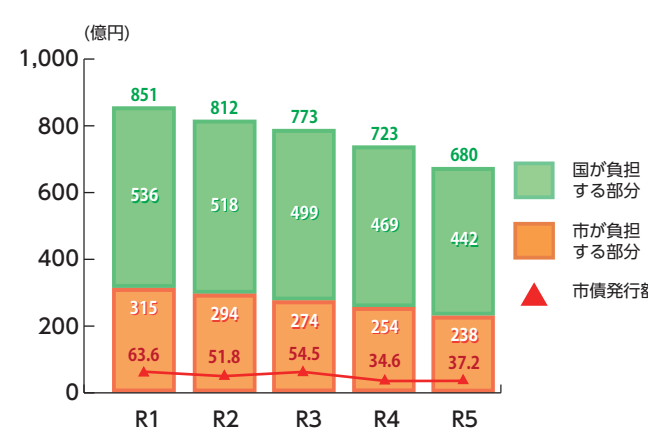


こが家の家族

基金(貯金)残高



借入金(借金)残高 (特別会計・企業会計含む)



令和5年度決算に基づく 特別会計・企業会計

特別会計の概要

特別会計(8会計)決算額を合計すると、歳入が306億9,957万5千円で前年度と比べて16億1,524万2千円(5.6%)の増加となり、歳出が304億6,972万2千円で前年度と比べて17億4,586万6千円(6.1%)の増加となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	139億4,303万4千円	139億4,303万3千円	1千円
古河福祉の森診療所特別会計	1億1,374万9千円	1億1,267万9千円	107万円
後期高齢者医療特別会計	18億2,244万5千円	18億2,146万9千円	97万6千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	113億2,843万円	111億8,985万5千円	1億3,857万5千円
農業集落排水事業特別会計	5億9,947万9千円	5億9,334万7千円	613万2千円
ゴルフ場事業特別会計	9,196万8千円	8,273万7千円	923万1千円
古河駅東部土地区画整理事業特別会計	27億8,963万3千円	27億1,576万5千円	7,386万8千円
公共用地先行取得特別会計	1,083万7千円	1,083万7千円	0円
合計	306億9,957万5千円	304億6,972万2千円	2億2,985万3千円

企業会計の概要

上下水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金や下水道使用料などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。

会計名	収支(税込み)	収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)
水道事業会計	収益的	27億3,940万円	23億8,703万2千円	3億5,236万8千円
	資本的	6億6,366万円	16億2,182万9千円	△9億5,816万9千円
下水道事業会計	収益的	32億6,881万9千円	32億922万3千円	5,959万6千円
	資本的	12億3,366万円	21億6,692万6千円	△9億3,326万6千円

【問】水道課(三和浄水場)Tel76-3780、㊟下水道課Tel76-1511

事業評価を実施しました

令和5年度に行った市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価とは、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行うものです。

評価結果は市ホームページおよび㊟企画課で閲覧できます。

【問】㊟企画課Tel92-3111



令和5年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

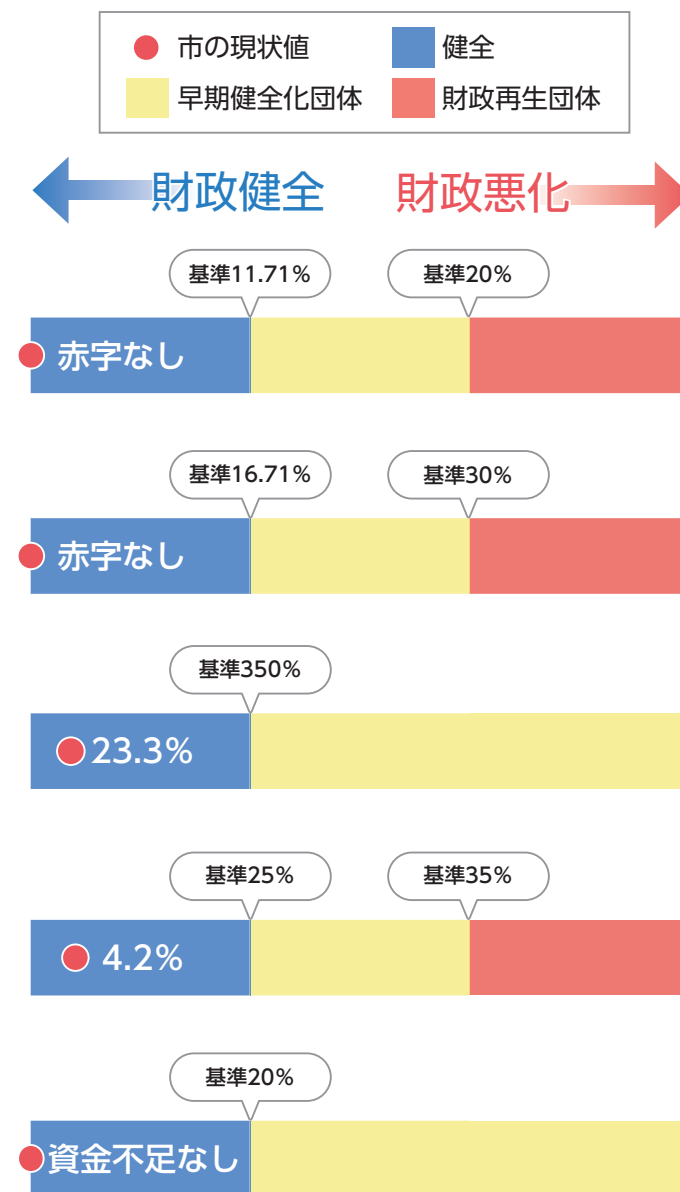
一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

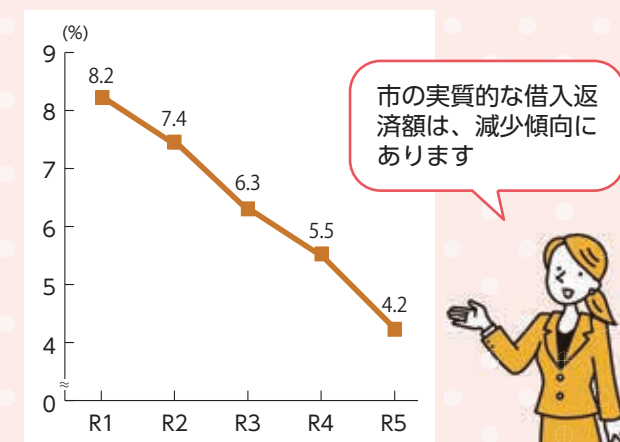
各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです



【令和5年度決算に基づく現状値】

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

▶ 実質公債費比率



▶ 将来負担比率

